

# 令和4年度（2022年度） 学校版環境ISOへの取組

<学校名：熊本市立高橋小学校>

## 1 取組の概要報告

### (1) 取組の概要

#### ① 宣言

「できることをみんなで」を合言葉に、宣言を選択して取り組んでいる。

宣言項目 児童生徒	1 電気のスイッチをこまめに消します。 2 水を大切に使います。（無駄づかいをしません。） 3 物は大切に使います。（持ち物にはすべてに記名します。） 4 資源物の分別に努めます。（小さい紙片も分別します。） 5 一人一鉢や学級園で植物や作物を育て、緑いっぱいの学校を目指します。
宣言項目 職 員	1 電気のスイッチをこまめに消します。 2 排出ゴミを減らします。（授業で使うものの効率化） 3 校舎内外の環境整備に努めます。 4 一年を通して花いっぱいの緑化活動を行います。 5 家庭や地域ともに連携して環境活動に取り組みます。

#### ② 行動

##### ㊦ 燃やすごみの減量化・節水の心がけ



学校全体や教科で使うものは、リサイクルを心がけている。

例えば、トイレットペーパーの芯や包み紙などは、別に保存しておき、図工などの材料に使えるようにしている。また、ペットボトルは児童玄関前に「一人一鉢の水やり用」として設置し、水かけに使用できるようにしている。同様に、ペットボトルは教室にも「筆洗い用」として置いており、習字の時間に水を貯めて筆を洗うなど、節水のためのツールとしても使用している。また、今年度は新型コロナウイルス感染対策のため子どもたちの手洗いの回数が増えたことで、水の使用量も増えたと思うが、石鹸で手を洗っている間は水を止めるなど節水に取り組む様子も見られた。

## ① 緑いっぱいの学校を目指して



○1年間を通して今年度より毎週水曜日の掃除時間を「グリーンタイム」にしている。全児童・教職員で緑の活動を行っている。学年園、一人一鉢の苗植え、草取りを中心に年間を通して緑とかかわることができた。学年園は主に年2回、5月頃と11月頃に花を植え替えている。この準備として、環境委員会が土づくりを行った。

特に今年度は、「人権の花運動」の当番校であった。人権教育担当者と連携して、種から「ヒャクニチソウ」「マリーゴールド」「コスモス」を育てる活動を全児童、教職員で取り組んだ。夏の暑い中、ピンク、橙、白、黄色等の綺麗な花が各学年の花壇やプランターに咲いた。

見る人みんなの心の中を穏やかに満たしていた。



本校では、企画委員会を中心として全校児童でJRC活動にも取り組んでいる。その一環として「気づき・考え・実行する」を合言葉に環境活動を含めたボランティア活動をしている。校門近くのプランターの水やり、草取り、落ち葉集めなどを行っている。

環境活動の中心となる環境委員会では、今年度、種から苗を植える活動や、卒業式で6年生を送り出すためのサクラソウを育てる活動、常時活動として毎日の水かけ、全校の児童に一人一鉢の苗のお世話の説明などを主に行った。

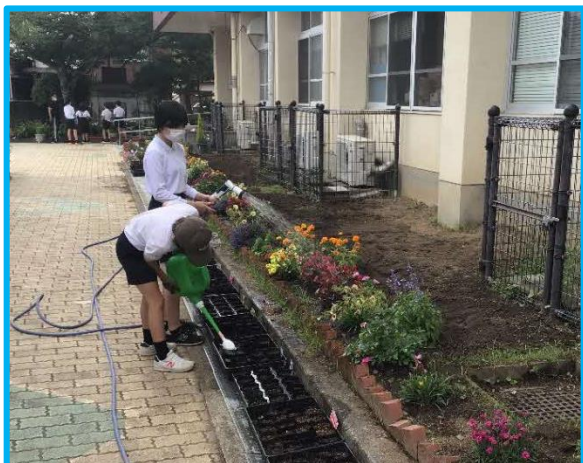


○校長先生からアドバイスをもらいながらサクラソウの苗をポットに植え替えた。

自分で植えた苗が、成長していく喜びや、なかなか思うように成長しないもどかしさなど、植物も生き物であるということの間近で感じることで、愛情をもって花と触れ合うことができた。



## ㊦ 環境委員会の活動



○常時活動として、花壇やプランターへの登校時の朝からと下校する夕方の1日2回の水かけを環境委員会で話し合い当番を決めた。忘れないためにも学年ごとに割り振り、毎日の活動にした。冬場は、1日2回の水やりは、花にとって水が多すぎるため土の乾き具合と花の様子を見極めながら水をかけるようにしている。

また、毎週水曜日のグリーンタイムの日は、給食準備時間の放送で本日のグリーンタイムの仕事内容を説明する放送をしている。

## ㊧ 登校班(縦割り班)の活用



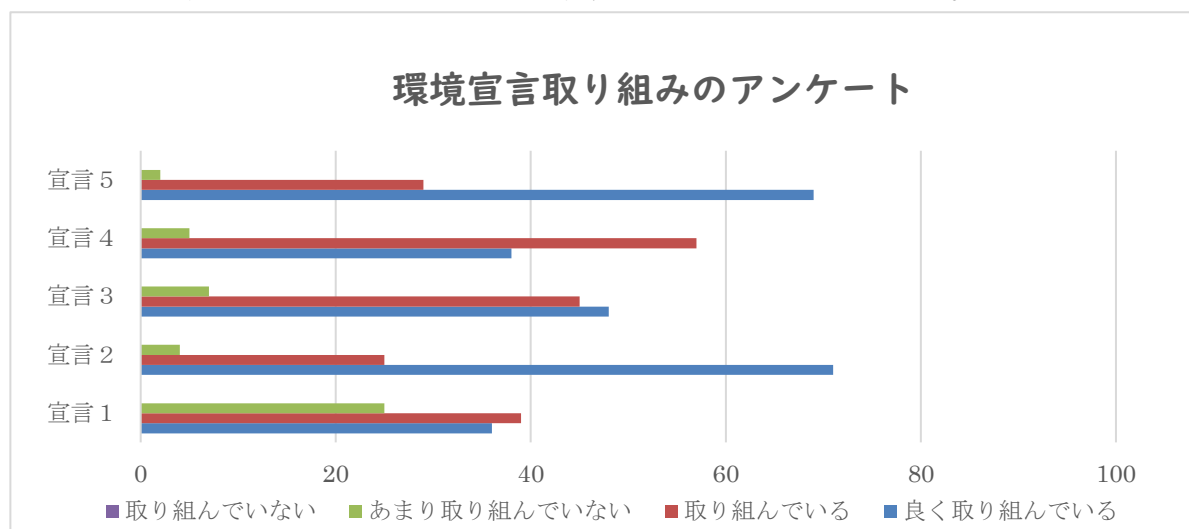
一人一鉢の水かけは、登校班で声をかけ合い、朝の登校時に全員で行っている。

夏季の花は、夏の日差しが強いため、朝夕の1日2回の水かけが必ず必要だった。

しかし、冬季の花は、毎日水をやらなくてもよく、土の乾燥具合で水やりをするかを決めるようになっている。毎日水をやる必要はなくても、必ず登校時に鉢の様子を見ていく子どもたちがほとんどである。また、友達の水も見ながら、「花がたくさん咲いたね」「綺麗だね。」などの会話も生まれている。

## (3)記録

11月に、宣言項目について児童全員にアンケートを実施した。



## 2 成果と課題

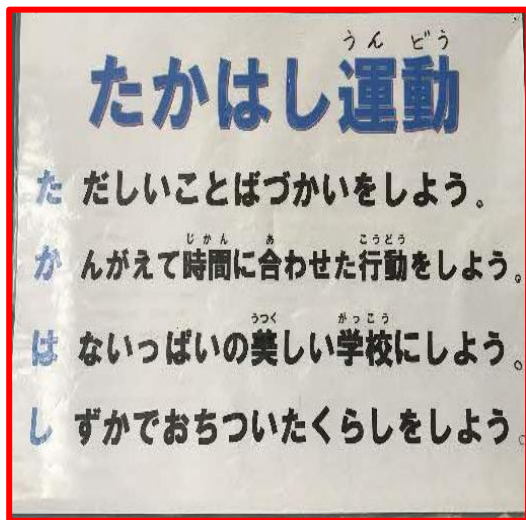
### (1) 成果

本校では「たかはし運動」を中核に据え、日々活動をしている。この中の「花いっぱい美しい学校にしよう」の精神が、学級園や一人一鉢の植物の成長を喜び、水かけや草取り等を通して大切に育てていきたいという意識につながってきていると思う。

アンケート結果においても、緑いっぱいの学校を目指す宣言5に関しては昨年度に比べ取り組めていると答えた児童数がかかなり増えていた。「人権の花運動」の当番校でもあったので、種から発芽させ、苗を育てた。その苗を花壇やプランターに植え、見事に綺麗に花が咲き私たちの心を和ませてくれた。このような体験的な活動が児童の意識を高くしたと思える。

節水に関しての意識も高い。特に、宣言2では、半数以上の児童が良く取り組んでいると回答している。これは、感染症対策で手洗いの頻度が増えたことで水の使い方に気を付けていることが考えられる。保健委員会や給食委員会など各委員会とも連携を図りながら、みんなで取り組んでいるところも成果の一つである。

### (2) 課題



アンケートでは、どの項目もよく取り組んでいる・取り組んでいると回答している児童が多かった。

しかし、宣言1のようにあまり取り組んでいないと回答している割合も少なくはない。電気を自分で消すなどといった、自分から気付き行動していくことが今後の課題といえる。そのためには、環境委員会をはじめ各委員会での連携を密にしていくことも大切と思える。

グリーンタイム活動の確保などの年間計画を見据えた活動も見通しを持って取り組んでいくことも必要である。また、ごみの分別箱や、移植ごてなどといった、環境整備のための道具も整理し、児童が自分から取り組んでいけるような環境づくりを心がけていきたい。